

国有財産を活用した中学校での出前授業

北海道財務局は、地域の将来を担う若い世代向けに、国有財産の活用を考える授業を実施。まちづくりを身近なこととして理解してもらうための一助に。

概要

- 北海道財務局は、札幌市内の中学校から「就業体験やアクティブラーニングの要素を取り入れた授業を実施してほしい」との依頼を受け、内容を検討。
- これまで授業として実施したことがない国有財産業務を題材とし、地域にある留保財産の利活用方法を生徒たちに検討・発表してもらうことで、学校側の要望に応えた。



国有財産業務について説明

留保財産とは？

将来ニーズに備え、国が所有権を持ったまま、定期借地権による貸付の手法で有効活用を図る国有地。



題材として扱った
札幌市中央区の留保財産

取組の成果

- 講師は、周辺環境、用途制限、周辺施設との連携や競合といった条件やヒントを提示。
- 生徒たちは、対象財産を最大限に有効活用しようと考えた場合、どのような施設（用途）を建築することが望ましいか検討。



活用方法を検討する生徒

生徒から提案された活用案

- オフィス街には癒しの空間が必要であり、動物カフェやトレーニングジムを作ってはどうか！
- 高齢者施設の上にマンションを建て、入所者と家族がいつでも会えるようにしたら良い！

○こうした出前授業を通じ、国有財産の活用による生徒たちのまちづくりへの興味・関心が高まることに期待。
○身近な国有財産や管財業務の紹介・情報を発信する良い機会となる。

コロナ禍の今こそつなげ！～事業者×専門家×金融機関～

北海道財務局は、コロナ禍において事業者等が抱える課題の解決に向けて、北海道中小企業家同友会や札幌弁護士会等と連携。地域金融機関による事業者等の支援力向上を後押し。

概要

- 北海道財務局は、北海道中小企業家同友会や札幌弁護士会等とともに、アンケート調査や勉強会等を実施。

北海道中小企業家同友会との連携

- ✓ コロナ禍における金融機関の取組（事業者支援等）について、北海道中小企業家同友会の協力を得て、会員企業390社にアンケートを実施（有効回答数160社）。
- ✓ 結果を分析し、中小企業代表者と意見交換会を開催。

札幌弁護士会との連携

- ✓ 個人債務者等への支援態勢の構築・強化を図るべく、「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」を新型コロナウイルス感染症に適用する場合の特則（以下、コロナ特則）についての金融機関向け勉強会を札幌弁護士会とオンラインで開催。
- ✓ 住宅金融支援機構北海道支店も説明者として参加。

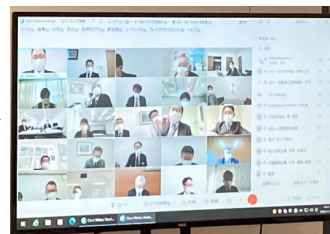
取組の成果

- これらの取組を通じ、金融機関に求められる経営改善支援の取組を検証したほか、コロナ特則の理解促進に寄与。



中小企業代表者との
意見交換会

- ✓ コロナ禍における金融機関の取組について、事業者側の評価やニーズを多面的に把握し、金融監督業務に幅広く活用。
- ✓ 資金繰り支援だけでなく経営改善支援を求める企業が多いこと等を把握。金融機関に伝え、中小企業が抱える課題の解決に向けた取組等の更なる推進に期待。



金融機関向け
オンライン勉強会

- ✓ 北海道財務局が、弁護士会・住宅金融支援機構・金融機関をつなぐハブとなることで、債務者支援についての情報を共有し、取組を進めることを確認。
- ✓ コロナ特則の周知・浸透にも貢献。

経済調査のノウハウ教えます～高校生向け特別授業を実施～

函館財務事務所は、高校生向けに、新型コロナウイルス感染症の経済への影響など経済調査に関する特別授業を行い、課題研究をサポート。

概要

- 函館財務事務所では、地域経済の動向を分析する「道南経済レポート」を定期的に発表しており、その内容は新聞等で報道されている。
- 函館商業高校は、生徒が地域経済を研究するにあたり、函館財務事務所に特別授業を依頼。これを受け、函館財務事務所は、同校で経済調査の目的や手法を学ぶ授業を実施した。

特別授業の内容

- ・なぜ経済調査をするの？
- ・新型コロナ禍前後での消費動向の変化(ケーススタディ)
- ・ヒアリングのコツ etc...

役立ち情報① ヒアリングのコツ

- 1) 質問の内容を考える際には、ニュースや各種データをみて、自分なりに個人消費の動向に関する仮説を立ててみる。
- 2) ヒアリングの場では「販売が増えた/減った」から掘り下げて、「なぜそうなったか」の要因まで確認。
- 3) 「良い/悪い」は人によって違うので、可能な限り、数字で具体的に確認。
(販売よりQ&A満足度が増加しているなど)
- 4) 先方のイメージの共有化のため、あらかじめ売り場を実際に見ておく。

授業で使用したスライド



授業の様子

取組の成果

- 【受講後の生徒による課題研究の取組】
- 授業内容を踏まえ、生徒だけで企業ヒアリングを実施。
 - グラフや写真を用い、根拠に基づいたわかりやすいスライドを作成。
 - 課題研究発表会で、「新型コロナウイルス感染症が地域に与えた影響について」をテーマにプレゼンテーションを実施。

新型コロナウイルスは私たちの生活にどんな影響があるのか？

- ・マスクの売上UP↑
素手で物に触れるのを避けるための**手袋**の売上UP↑
- ・良い体調を維持するために**健康食品**の売上UP↑
- ・化粧品全体の売上が減る↓
特に**ファンデーションやリップ**など
- ※マスクをしていても目元は見えるので**アイメイク用品**の売上UP↑

感染症拡大防止にご協力ください

生徒の声 生徒作成スライド



発表風景

経済調査の重要性やケーススタディ等を、普段教室で学んでいることと照らし合わせ、発展的に学ぶことができた。

▶ 特別授業と発表会の模様は、地方紙2紙に掲載。こうした財務局の取組へのニーズが、地域で今後高まることに期待。